2018年12月期第3四半期
業績説明資料

株式会社アイ・エス・ビー

証券コード：9702

2018年11月

Copyright © 2017 ISB CORPORATION. All Rights Reserved.

2018年12月期3Q　連結損益計算書

2018年12月期3Q累計実績

売上高	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業利益	経常利益	当期純利益
12,930 百万円	**2,646 百万円**	**1,970 百万円**	**676 百万円**	**687 百万円**	**409 百万円**
前年比 +649 百万円 +5.3%	前年比 +452 百万円 +20.6%	前年比 +223 百万円 +12.8%	前年比 +229 百万円 +51.2%	前年比 +240 百万円 +53.6%	前年比 +215 百万円 +111.4%

2017年12月期3Q累計実績

12,280 百万円	2,194 百万円	1,747 百万円	447 百万円	447 百万円	193 百万円

売上

受注が好調に推移し、前年同四半期に比べ増加。
（情報サービス事業）　受託開発型事業での受注が好調に推移。
（セキュリティシステム事業）出入管理、入退室管理システムの施工等、総じて順調に推移。

利益

オフショア・ニアショア活用など収益性改善施策が奏功、前年同四半期に比べ大幅に増加。
（情報サービス事業）　開発案件の生産性の向上、ニアショア・オフショアの活用により大幅に増加。
（セキュリティシステム事業）新製品開発による研究開発費増加の影響を粗利益の増加が吸収、前年同四半期に比べ増加。

© ISB CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

2018年12月期3Q　連結分野別売上高＆構成比

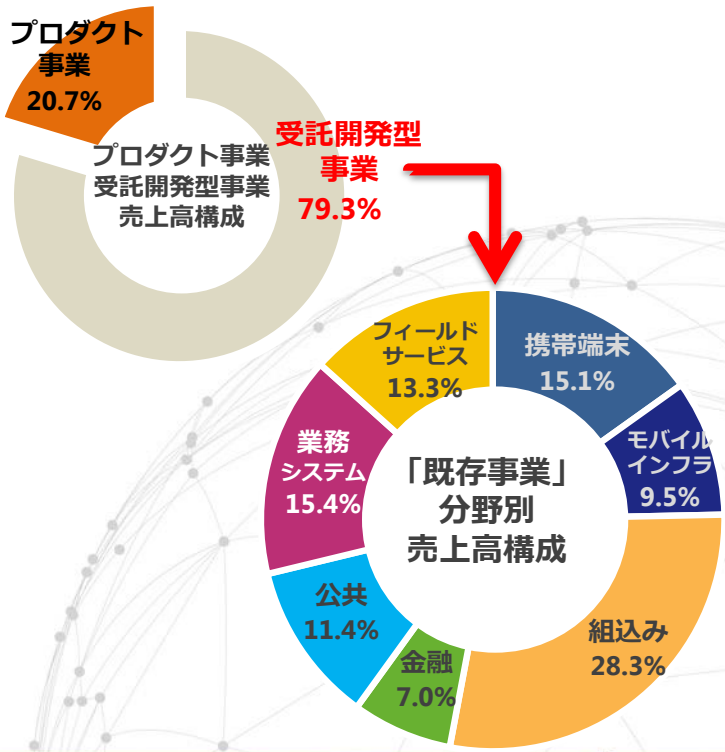
「組込み」「業務システム」分野が売上高増加を牽引。

組込み　－　車載系業務やQtをキーとした業務の受注が伸び、売上増加。
業務システム　－　企業のIT投資増加を背景に、システム開発・刷新業務の増加により売上高増加。
モバイルインフラ　－　基地局業務の収束と研究開発案件の受注減少により売上高減少。
金融　－　技術者不足を補えず、売上高減少。

分野別売上高の状況（連結）

（売上単位：百万円）	2017/12期3Q 売上	2017/12期3Q 構成比	2018/12期3Q 売上	2018/12期3Q 構成比	前年比 売上	前年比 構成比
携帯端末	1,714	14.0%	1,552	12.0%	162↓	2.0P↓
モバイルインフラ	1,137	9.3%	978	7.6%	159↓	1.7P↓
組込み	2,636	21.5%	2,904	22.5%	268↑	1.0P↑
金融	773	6.3%	718	5.5%	55↓	0.8P↓
公共	1,075	8.7%	1,154	8.9%	79↑	0.2P↑
業務システム	1,149	9.3%	1,584	12.2%	435↑	2.9P↑
フィールドサービス	1,299	10.6%	1,368	10.6%	69↑	0.0P→
プロダクト事業	2,497	20.3%	2,672	20.7%	175↑	0.4P↑

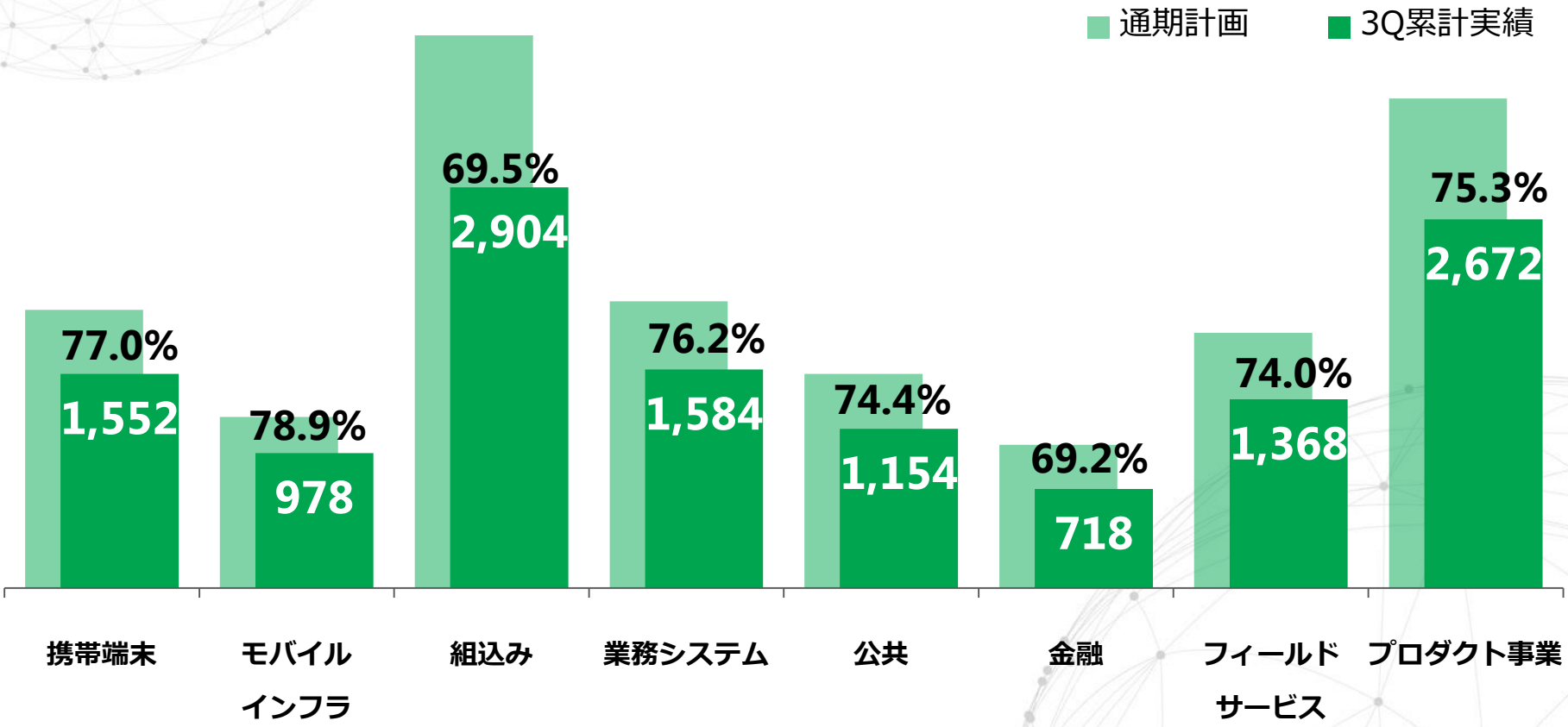
分野別売上構成比（連結）



Copyright © 2017 ISB CORPORATION. All Rights Reserved.

分野別売上高　通期計画 VS 3Q累計実績

・全体では概ね計画どおりの進捗。
・「組込み」は案件確保に注力、「金融」は技術者確保を目標に通期計画達成を目指す。



白文字：3Q売上高累計実績（百万円）
黒文字：分野別通期売上計画に対する進捗率

Copyright © 2017 ISB CORPORATION. All Rights Reserved.

分野別売上高（連結）の状況

携帯端末

前年同期比に比べ売上高減少。
予想していた スマートフォン開発費とそれに伴う検証業務の減少が響き削減し、前年同期比で減少となった。対計画では予想通りの推移。

モバイルインフラ

基地局関連業務の収束により減少。
予想された基地局関連業務の収束が響き、前年同期比で減少となった。対計画では予定通りの進捗。

組込み

車載系業務、Qt関連業務が増加を牽引。
医療系など総じて前年同期比を上回った。
特に車載系業務やQt関連業務の受注が増加を牽引。

業務システム

企業向けシステム開発業務の受注が増加。
IT投資の増加を背景に企業向けシステムの受注が増加し、前年同期比で増加となった。

金 融

案件の収束と技術者確保に苦戦。
開発案件の収束や、技術者確保に苦戦しており、前年同期比減少となった。

公 共

官庁業務の受注が堅調。
大規模な法改正がなかった自治体業務で受注が減少したものの、官庁業務での新規案件受注が補い、前年同期並みを確保。

ﾌｨｰﾙﾄﾞｻｰﾋﾞｽ

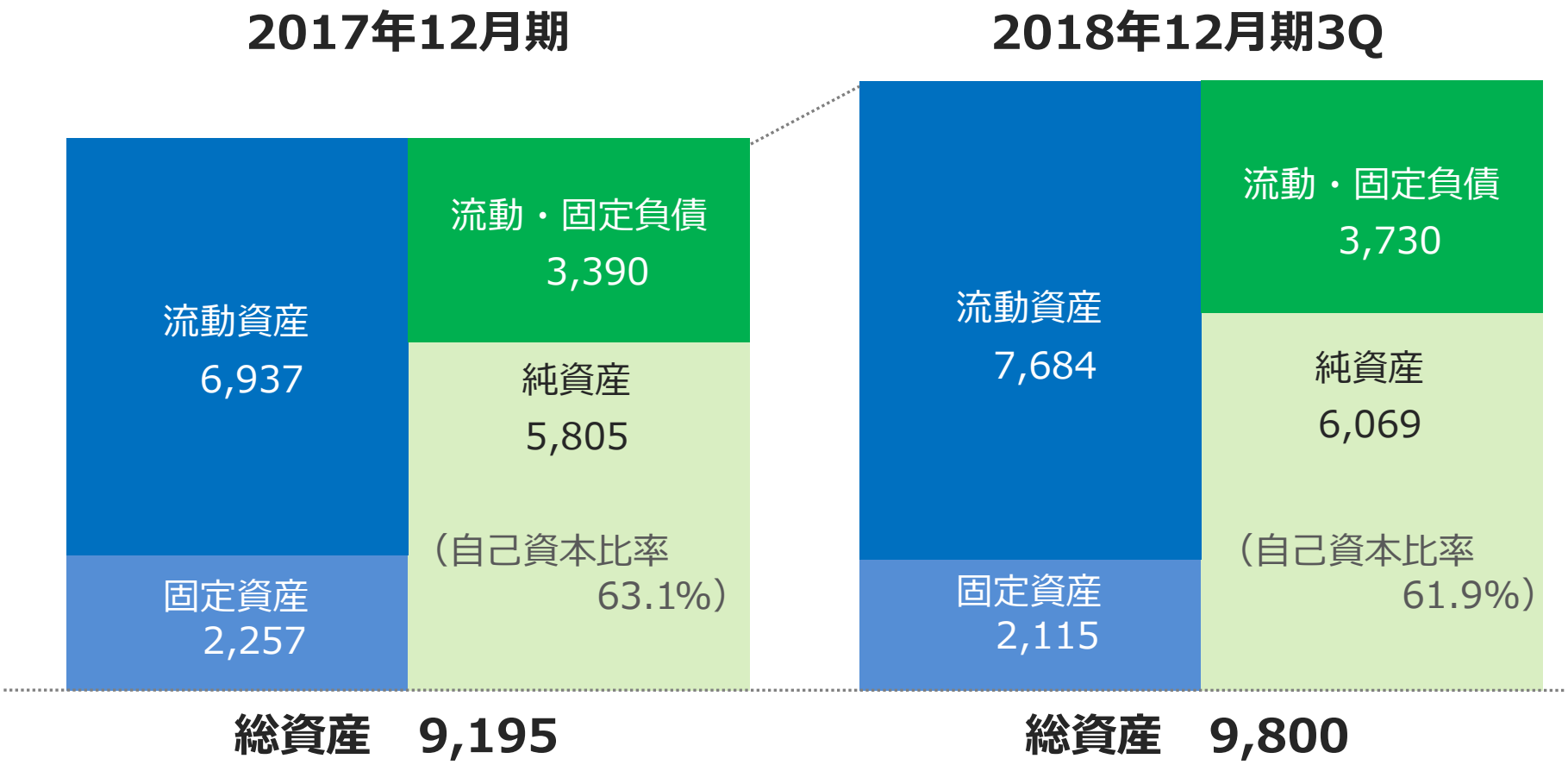
前年同期並みを確保。
サーバー・ネットワーク構築業務やクラウド関連業務の受注が増加したものの、運用支援関連技術者確保に苦戦し、前年同期並みとなった。

ﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄ事業

セキュリティシステム事業が順調。
セキュリティシステム事業が堅調に推移し、前年同期比増加した。

Copyright © 2017 ISB CORPORATION. All Rights Reserved.

2018年12月期3Q　連結貸借対照表



主要POINT

①総資産増加　→　現金及び預金の増加
②負債の増加　→　支払手形及び買掛金、未払法人税等、賞与引当金等の増加
③純資産の増加　→　利益剰余金の増加
④自己資本比率　→　1．2ポイント低下

© ISB CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

ISB CORPORATION

本資料は、2018年12月期第3四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2018年9月末時点の状況において作成しております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

【お問い合わせ先】
株式会社アイ・エス・ビー
http://www.isb.co.jp/

〒141-0032
東京都品川区大崎5-1-11住友生命五反田ビル8F
TEL 03-3490-1761(代)　E-mail ir-info@isb.co.jp

Copyright © ISB CORPORATION. All Rights Reserved.